

学校だより



〈平成30年1月9日発行〉

【教育目標】

- 自分で考え 行動する子
- ◎ 心豊かで 思いやりのある子
- 体をきたえ 元気な子

『一人一人が輝き、共に生きる力』を培う教育活動の推進

明治3年3月3日創立

立川市立第一小学校

校長 對馬 洋

〒190-0023 立川市柴崎町2丁目20番3号

TEL 042-523-4428~9

042-522-2114 (青空学級)

FAX 042-529-0840

URL <http://www.tachikawa.ed.jp/es01>

明けまして おめでとうございます

校長 對馬 洋

いよいよ新学習指導要領への移行が始まります

3学期は、平成29年度を振り返りながら、4月から始まる新たな教育活動に向けての準備に取り組みます。

平成30年度には、「特別の教科道徳」と、教科書の対応が無い「総合的な学習の時間」「特別活動」などが、新学習指導要領の内容でスタートします。また、外国語(英語)については、外国語活動の中学年からの実施と、高学年の外国語活動+外国語(英語)を、授業時数を増やして実施します。さらに、国語、社会、算数、理科の一部の内容については、省略されたり取り扱う学年が変わったりするものもあります。

授業時数の増加への対応としては、週の時間割のコマ数を増やすことには限界があるため、土曜日授業の実施や夏休みの短縮などにより、年間の授業日数を増やすことで、必要な授業時数を確保していきたいと思えます。

「特別の教科道徳」

新たに特別な教科としての道徳が始まります。道徳の評価は、他の子どもとの比較ではなく、一人一人の成長を認め励ますための個人内評価として「あゆみ」に記述していきます。また、道徳の内容項目(A,主として自分自身に関する事 B,主として人との関わりに関する事 C,主として集団や社会との関わりに関する事 D,主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事)の枠組みの中から顕著なものを取り上げ、子どもの変容や具体的な状況を捉えて評価していきます。

小学校外国語活動・外国語(英語)

平成30年度は、第3・第4学年では外国語活動を年間に15単位時間実施します。指導内容は、英語の特徴等に関する事項として、①英語の音声やリズムに慣れ親しむ②言葉の面白さや豊かさに気付くことなどがあります。言語活動及び言語の働きに関する事項としては、①聞くこと②話すこと(やり取り)③話すこと(発表)などを取り扱います。また、第5・第6学年では、従来の外

国語活動に外国語(英語)を加えて、年間に50単位時間実施します。指導内容は、英語の特徴やきまりに関する事項として、①音声②文字及び符号③文及び文構造を、言語活動及び言語の働きに関する事項としては、①読むこと②書くことなどを取り扱うなど、より本格的な英語学習になる見通しです。

学校教育目標の見直し

さらに、学校教育目標の見直しも必要になります。新学習指導要領では、「これからの時代に求められる資質・能力」として、①何を知っているか・何ができるか(知識・技能)②知っていること・できることをどう使うか(思考力・判断力・表現力等)③どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力・人間性等)が示されました。今後は、知っていることやできることを使って社会や世界と関わり、いかによりよい人生を送ることができるかが問われることとなります。

本校では、昨年度より、新学習指導要領の趣旨を実現するためのしかけのひとつとして、6年生による「卒業論文発表会」を始めました。「卒業論文発表会」に臨むためには、言語能力(プレゼンテーション能力を含む)、情報活用能力(情報モラルを含む)、問題発見・解決能力等の資質・能力のほか、学び合いや課題追求への意欲などが求められます。これらを、第1学年から発達段階に応じた活動を工夫し、卒業論文発表を行うために必要な知識や技能を確実に身に付けられるようにしていきたいと思えます。

学校と地域社会、家庭との新たな関係作り

新学習指導要領に基づく教育活動を進めるためには、地域社会に根を張り、地に足が着いた教育活動が必要です。これまで以上に、学校と地域社会が連携を密にしていくことが求められます。立川市では、従来の学校評議員会や地域支援本部などの取り組みを生かしながら、コミュニティスクール化を推進します。このことについては、次号で詳しく取り上げたいと思えます。